



山岡光広・安井直明・小西喜代次議員が一般質問

山岡光広議員



◆台風18号被害の一日も早い復旧と災害に強いまちづくりへ、◆県原発事故影響シミュレーションに対する認識、◆2歳半健診の実施を、◆コメの生産調整「減反廃止」と甲賀市の農業について

問 台風など自然災害による被害を最小限に抑えるために災害に強い福祉のまちづくりが必要。異常気象を想定した防災計画の見直し、災害時に自治会・消防などの情報共有、聴覚障害者のための音声告知端末、被災者に寄り添い査定前着工などの制度有効利用、災害補助対象外への対応、河川の浚渫・改修などを急ぐべき。

危機・安全管理監督官 自治会との情報共有はマニュアル化を、消防団とは無線システムを検討中。防災計画も拡充。総合政策部長 聴覚障害者世帯には一台緊急情報を文字データとして確認できるタブレットを無償で支給する。

産業経済部長 農地農業用施設被害については補助対象外に対しては市独自で資材を無償提供して支援。

建設部長 河川の浚渫など更なる維持補修が必要で県に強く働きかける。

問 遅れている2歳半健診の実施を。健康福祉部長 歯科医・小児科医・内科医の代表らと調整して早期に実施できる体制を整えていきたい。

問 コメの減反廃止による影響は。産業経済部長 現時点では影響を推し量ることができない。

安井直明議員



◆党の市民アンケートをふまえて市民要求実現を、◆市議選での公約「6つの安心」の実現を、◆地域要望について、◆新年度予算編成について

問 獣害対策の更なる強化を図れ。市長 防護柵支援を実施してきた。捕獲頭数増に今後も取り組む。

問 新甲賀病院からの帰りの便などコミバスの改善を図れ。総合政策部長 調整をすすめる。

問 市議選での地域要望実現を。建設部長 県道岩室の歩道は引き続き要望。余野の歩道は先に上野・油日

町に要望。大野の布引交差点、視距改良も県に要望する。市道野佐山線は、用地測量を進めていく。岩上橋は修繕に向け業務委託中、来年度修繕工事に着手。

市民環境部長 前野地先の信号は安全設備が設置された。香野団地のカーブミラーは目視で安全確保ができる。夏場のペットボトル回収は、要望のところに袋を増やした。月2回の回収はしない。

この他に、日本共産党のアンケート結果から「市民の暮らしは一段と苦しくなった」の回答を元に、暮らしや平和について市長の見解を質問。新年度予算の質問に台風18号被害への対応は、すでに補正でしているが、林道の復旧、急傾斜地の工事費、信楽高原鐵道の全体像を把握その上で復旧方向を決定する、と答弁がありました。

小西喜代次議員



◆子どもの医療費無料化拡充、特別養護老人ホーム増設など福祉の充実、◆信楽高原鐵道の早期全面復旧を、◆大戸川・信楽川の早期浚渫・改良を、◆県道大津信楽線道路付替え道路の早期開通を

問 中学校卒業までの通院医療費の完全無料化を。市長 利用状況や財源確保もふまえ、子育て支援の充実を検討する。

問 特別養護老人ホームの待機者解消に向けて増設を。市長 第6期介護保険事業計画の中で整備の検討を行っていく。

問 国保税一世帯一万円引き下げを。市長 負担と給付のバランスを充分見極めたうえで、慎重に判断する。

問 信楽高原鐵道の早期全面復旧を。市長 災害復旧事業費補助金制度の適用の対象になった。引き続き国・県と財政協議を進め、方向性を出す。

総合政策部長 災害の調査結果は来年1月末までにだす。実施設計業務を進め、全体事業費の早期把握に努める。

問 大戸川・信楽川の早期浚渫を。建設部長 危険性の高い所から実施、計画されている。順次進めるよう県に申し入れている。

問 県道大津信楽線の付け替え道路の早期開通を。建設部長 平成28年度が開通目標。何よりも付け替え道路の早期整備が必要であり、今後も引き続き要望していく。

一般質問には、25名の議員が質問にたちました。山岡光広、安井直明、小西喜代次の各議員（発言順）が、切実な市民の要求実現へ実態調査をもとに迫りました。

新しい議会構成のもとで…活発な議論

議事を終えて 座談会

山岡 新しい議会になって初の定例議会、一般質問が25人というのは驚き…。

小西 議会の活性化という点ではいいこと。

安井 一問一答方式は難しい。傍聴・テレビやネット視聴も含めてわかりやすい質問の仕方は工夫がいる。

小西 一般質問をする議員の多さもさることながら、意見書や議案の賛否にたつ討論も多かった。

山岡 活発なのはいいことだけど、市民のいのちと暮らしを守る立場を貫けるかどうか、ここが肝心。

安井 そういう点では、安倍政権が、特定秘密保護法にしても、消費税や社会保障、TPPの問題にしても、国民から批判を受けても悪政を推進する暴走を繰り返している時、これにストップをかける力が必要。地方政治からも声をあげることが大事なのに…。

山岡 公明党は安倍政権の暴走にブレーキの役割と云っていたが、実際にはアクセルの役割。甲賀市議会での論戦をみても明らかです。

小西 そうそう。私も消費税増税と軽減税率の意見書に関して、提案者に質疑したが、推進の姿勢がありあり。

安井 市議選で4議席から3議席に後退した影響は大きい。議会人事でも多数派が占められていない。

小西 市民の要求実現へ引き続き全力で頑張ろう。